

# 平成23年度後期芦安中学校学校関係者評価書

平成24年1月20日

芦安地区学校関係者評価委員会

委員長 松本 賢司



## 1 経過

○第2回芦安地区学校関係者評価委員会

〔日時〕平成24年1月17日（火）19時30分～20時45分

〔場所〕芦安小学校多目的ホールにて

## 2 参加者

No.	氏名	役職名	備考	
1	秋山 栄男	芦安区長会長		
2	伊東 隆雅	芦安地区保護司 白雲荘経営		
3	伊東 義巳	木工指導者 民宿よしみ経営		
4	清水 准一	NPO法人芦安ファンクラブ事務局長 清水工設社長		
5	清水 実	南アルプス市議会議員		
6	深澤 米男	南アルプス市議会議員		
7	松本 賢司	芦安小中学校PTA会長	委員長	
8	森本 章雄	芦安地区学校応援団代表	副委員長	
9	深澤 信臣	芦安小学校	校長	
10	竹内 幸人		教頭	事務局
11	花輪 千明		教務主任	
12	興水 哲男	芦安中学校	校長	
13	小尾 一彦		教頭	事務局
14	伊藤 浩一		教務主任	

## 3 学校側から提案された内容

〔後期中学校自己評価の分析と改善方策〕

- (1) 後期（12月）教職員アンケート結果
- (2) 後期（12月）生徒アンケート結果
- (3) 後期（12月）保護者アンケート結果
- (4) 芦安中学校後期自己評価書

## 4 協議された主な内容

- (1) 後期アンケート結果への質疑
- (2) 自己評価の結果の内容についての検証
- (3) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策についての検証
- (4) 今後の芦安地区の教育のあり方について

## 5 評価委員会で出された主な意見

(1) 芦安中学校の後期学校評価及び今後の小中学校教育の推進について

- ・市にも小中学校の連携について要望をしている。特色ある学校づくりについての地域の期待も大きい。今後も小中学校の連携をぜひ推進して行ってほしい。
- ・心の教育は大切である。子どもを守る会として、朝、登校時に通学路に立っている。そのときの小中学生のあいさつはいいと思う。しかし、小学生に比べ中学生は恥ずかしがって、あいさつはうまくない。相手の目を見て、あいさつをするように指導してほしい。
- ・保護者同士の連携はどのようになっているのか。同じ年齢の子どもを持つ保護者の連携は大切である。→PTA会長より：PTA理事会で子どものことについて、保護者と学校がオープンに話し合っていて連携をとっている。保護者同士も、学校行事や子どもクラブの行事で情報交換をしており、連携をとっている。
- ・教師がサラリーマン化してほしくない。芦安の特色を出した教育を進めるために、学校でも研究課題として考えてほしい。(芦安小中に通う子どもも増えるためにも)
- ・地域も何とか小中学校の存続してほしいと考えている。このことは、地域としても大きな課題である。
- ・難しいことだが、芦安に行ったらこういうことを学べる、こんな魅力があるというものがあれば一番いい。小中連携する中で、子どもたちを引き付ける教育をお願いしたい。
- ・芦安小中は、少数なので個別指導の塾のようであるが、学力向上が一番の課題である。基礎学力が定着していない子どもたちは、補習的な学習として部活の時間を使うことができないか。(子どもたちの希望があればであるが…)→現状では、課題をしっかりとやり終わった上で、部活動に参加するということになっている。部活は学力とはちがうよさや目的がある。基礎的な学力をつけるための小中連携や日常的な家庭学習の習慣化を図るために家庭との連携をさらに図っていきたい。
- ・小中学校に共通することだが、行事が過密だと思う。例えば隔年で行うなど行事の見直しを検討してほしい。

(2) その他

- ・年配の方とかるたやゲームや焼き芋等の活動を一緒にやってもらえるのはありがたい。老人は方言や昔からの習慣などを知っている生き字引なので、地域の人材として学校教育に活用してほしい。

## 6 評価・分析

芦安中学校は、「教職員アンケート」「児童・保護者アンケート」やPTA理事会での話し合い等を踏まえ、学校運営や教育活動の達成状況を把握した上で、課題や成果・改善策を分析・整理している。評価が高かった項目は今後も伸ばしていき、まだ不十分の評価項目については改善を図ることが必要である。児童や保護者の願いを踏まえ、職員の共通理解のもとに教育目標の具現化に向けて取り組んでほしい。今後も全職員で一体となり、学校教育目標の「主体的で実践力のある芦中生」の育成の取り組みに推進してほしい。

特に、以下のことについては重点課題として取り組んでほしい。

- (1) 来年度から新学習指導要領が完全実施され、授業時数も増える。行事に追われるのではなく、子どもたちが主体的に活動できるための各種行事等教育活動の見直しや改善を図ってほしい。
- (2) 学力向上は、芦安小中学校の大きな課題の一つである。今後も基礎学力の定着や学力の向上をめざし、「授業改善や少人数を活かした授業」「小中連携して学習習慣や学習規律等の習得」「家庭との連携を図り、家庭学習の習慣化」を図ってほしい。
- (3) 今後、生徒数が減少する中で、小中連携しての特色ある学校づくりへの地域の期待も大きい。「9年間で子どもたちを育てる」小中の連携をめざし、協議を重ね、さらなる前進を図ってほしい。